

Advancing Science Workshop

名古屋市科学館

先進科学塾

先進科学塾は、科学をおもいきり楽しんでしまう塾です。
テーマに沿った実験を自分で行き、原理を追求し、
科学のもつ本当の面白さを体験しよう。

放射線測定から物質の根源を探る

日時：5月30日(土)・31日(日)

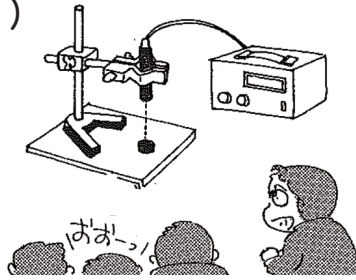
この講座は2日連続です。

申込締切：5月22日(金)

講師：林 熙崇氏

(愛知工業高校講師)

受講料：2,500円(材料費含む)



物質の根源は何なのでしょう。それを探る手始めとして、ガイガーカウンターを自作して放射線を検出します。霧箱を使って放射性元素のラドンやポロニウムの半減期を測定します。そして磁場の中でのベータ線の軌跡から相対性理論を検証します。また、名古屋大学の中村光廣准教授が「物質解明の歴史と最新の話」について講演します。

音って何だろう

日時：6月13日(土)、14日(日)

2日連続ではありません。どちらかの日時をお選びください。どちらでもよい場合はその旨お書きください

申込締切：6月5日(金)

講師：川田 秀雄氏

(中部大学・明和高校講師)

受講料：1,500円(材料費含む)



音は私たちの身近にあります。音で危険を察知し、言葉で意思の疎通をはかります。鳥の鳴き声や音楽は私たちの心を癒します。

この講座では音のもつ基本的な性質を実験を通して学び、「サンポーニャ」というアンデス地方の楽器を作ります。その後グループに別れて「音の様々な性質を利用した楽器」「気体や固体中の音波の伝わり方」などのテーマに取り組みます。そして、各グループの研究結果を発表し合い、音について理解を深めます。

聞こえない音を聞いてみよう

日時：7月11日(土)・12日(日)

この講座は2日連続です。

申込締切：7月3日(金)

講師：藤田 順治氏

(名古屋大学名誉教授)

受講料：2,500円(材料費含む)



より遠くの人と話をしようと電話機が発明され、より小さな音を聞こえと補聴器が使われています。また、雑音があっても美しい音楽が聞けるような技術も進んでいます。雑音に埋もれた微弱な意味のある信号を拾い出す技術は、物理の実験でも非常に大事です。この講座では、引き算もできるアンプを自作して、音で音を打ち消す方法や、フィルタで雑音をなくす実験をします。

雑音を消す方法は、いろいろあります。あなたも考えて実験してみましよう。

時間：各回とも午前10時～午後4時

場所：名古屋市科学館

対象：高校生以上

定員：各回15名

申込み：各コースごとにお申込みください。

往復葉書または電子メール、Faxのいずれかでコースのタイトル、希望日、郵便番号、住所、氏名、学年を記載して申し込んでください。
応募者多数の場合は抽選になります。

問い合わせ・申込み先

名古屋市科学館 先進科学塾係

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

電話：052-201-4486 Fax：052-203-0788

e-mail：refresh@ncsm.city.nagoya.jp

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/asw/>
(過去の先進科学塾のようすが見られます。)